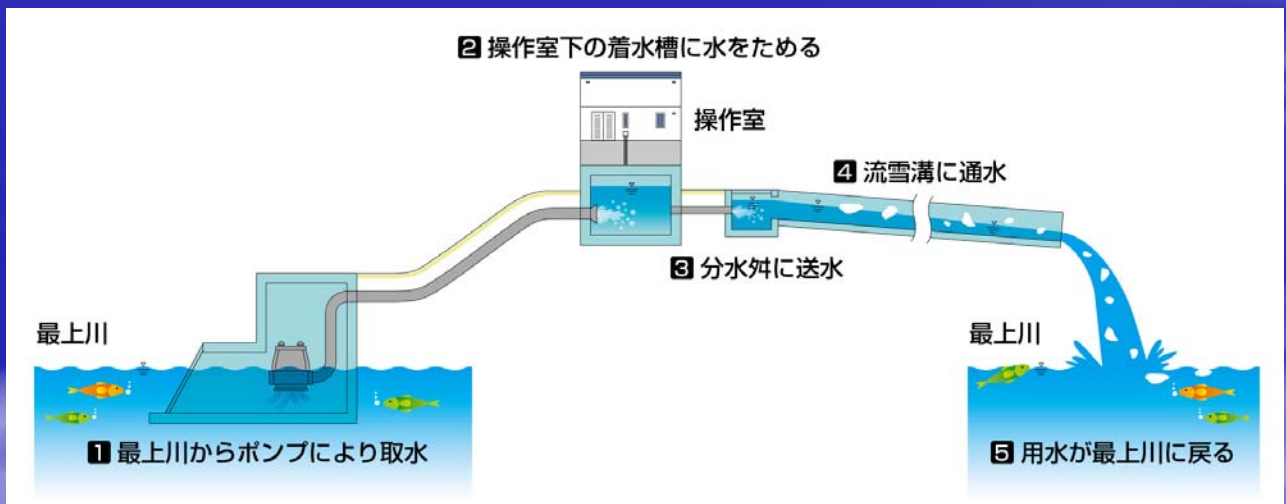


●雪国の冬期生活を救う 消流雪用水

雪の多い地域では冬になると雪を捨てる場所がなくなり、除雪作業が大変なものとなります。そのため市街地を流れる河川への投雪により、慢性的な水不足による雪づまりが生じています。

また、道路に山積みされた雪によって、人や車の安全な通行が妨げられ人々の生活にも大きな影響を与えています。

消流雪用水導入事業は、このような地域で暮らす人々の生活を守るために、最上川から水をくみ上げて河川へ水を流すことにより雪づまりを解消するとともに、河川から水路（流雪溝）へ流れた水により雪をどんどん流すことによって、除雪作業を楽に早くできるようにし、安全な通行にも寄与するものです。



導入前



導入後

●雪がもたらす雪害

■交通渋滞



道路の除雪や屋根の雪下ろしで車幅が狭くなり、対向車とのすれ違いが困難に。

渋滞の原因となる。

■なくなる歩道



歩道が雪で埋まり、歩行者が車道を歩かざるを得ない危険な状態になる。

■水上がり



未整備区間では水路の流量不足により水上がりをおこし、歩行の障害になる。

●消流雪用水導入事業の効果（大石田町）

（もしも流雪溝が整備されていなかったら）

平成18年2月7日
大石田地区の
積雪深237cm



ダンプトラック
10t積で



10,000台分の
運搬排雪が必要

■消流雪用水導入効果状況写真



流雪溝未整備地区
(大石田町岩ヶ袋地内)



流雪溝整備地区
(大石田町本町地内)

**運搬費用
3,000万円の
削除**